

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	1098	分館活動経費	01	01	一般会計
基本施策	33	だれもが生きがいを有する機会をつくる	10	10	教育費
			05	05	社会教育費
			06	06	分館費
担当部課名	教育委員会 青山分室		102	102	分館活動経費
作成者氏名	鋤本 方洋	連絡先	52-1110	01	分館活動経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	市内在住・在勤・在学の方	地域により密着した地区分館において各種事業や講座等の企画・運営を行うことにより、地域ニーズに合ったサービスを提供し、地域活性化と住民の福祉の向上を図る。			
本年度事業内容	6地区公民館(阿保・上津・博要・高尾・矢持・桐ヶ丘)が、それぞれの地域ニーズにあった事業を企画し、運営するために公民館事業の委託を行った。				
開始年度	平成 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	社会教育法、地区公民館分館規則

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	2,520	2,268	2,016
委託料	2,520	2,268	2,016
その他			
合計(A+B)	3,960	3,708	3,456
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,960	3,708	3,456
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
講座・教室・スポーツ大会・公民館祭り等各種行事の開催回数	回	49	50	50			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
講座・教室・スポーツ大会・公民館祭り等各種行事の開催回数	教養、文化、スポーツ・レクリエーション等の公民館事業の種類や開催回数を増やすことにより、住民の福祉の向上と健康保持の増進となる。	回	49 目標 (50)	50	50
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

各地区公民館分館は、それぞれの地域住民のニーズに基づき行事を企画し、子どもから老人まで誰もが気軽に参加でき、交流できる事業の運営を行っている。

評価	必要性	4	環境問題や次世代育成などの時代や地域社会のニーズを把握し、子どもから老人までが交流する中で学習できる事業が展開されている。また、「地域の子どもは地域で育てる」をキーワードに地域の大人たちが、子どもたちの週末活動を支援し、自分たちが住んでいるそれぞれの地域についての学習活動を今後さらに進めます。	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	3		
	効率性	4		